

制御. 第57回日本癌学会総会, 1998, 9, 横浜.

- 9) 前田正敏, 田辺清司, 近藤 隆: 超音波の化学的効果および機械的効果の周波数依存性. 第7回ソノケミストリー討論会, 1998, 10, 米沢.
- 10) 田辺清司, 近藤 隆, 小野寺宜郷, 古澤 満: "Disparity" ミューテーター dnaQ49 の抗生物質に対する高度耐性能, 日本放射線影響学会第41回大会, 1998, 12, 長崎
- 11) 近藤 隆, 田辺清司, 前田正敏, 竹内康人, 堀正二, 石原 謙, 森安史典, V.Misik, P.Riesz: 超音波造影剤類似物質PVC-ANマイクロバブルによる超音波誘発フリーラジカル生成および生物効果の増強, 日本放射線影響学会第41回大会, 1998, 12, 長崎
- 12) 趙ちん利, 野田朝男, 近藤 隆, 藤原美定: Molt-4細胞のX線アポトーシスにおけるp53経路とミトコンドリア制御及びDNasesの役割. 日本放射線影響学会第41回大会, 1998, 12, 長崎
- 13) Tanabe, K., Kondo, T., Onodera, Y. and Furusawa, M.: The conspicuous adaptability to antibiotics in *Escherichia coli* "Disparity" mutator, dnaQ49. 第21回日本分子生物学会, 1998, 12, 横浜

◆ その他

- 1) 前田正敏, 田辺清司, 近藤 隆: 超音波の化学的効果および機械的効果の周波数依存性. Sonoc-chemistry in Japan '98 第7回ソノケミストリー討論会講演論文集, 21-23, 1998.

保 健 医 学

教 授	鏡 森 定 信
講 師	笹 島 茂 仁
助 手	濱 田 仁 和
助 手	関 根 道 和

◆ 著 書

- 1) Kagamimori S., Matsubara I., Sokejima S., Yamagami T., and Nagata M.: Studies on changes in categories for pneumoconiosis X-ray classification in Japanese workers with occupational exposure to mineral dusts. *Advances in the Prevention of Occupational Respiratory Diseases*, Chiyotani K., Hosoda Y., and Aizawa Y. (Ed.) 166-169, Netherlands, 1997.
- 2) Nakayama T., Yamagami T., Matsukura T., Sokejima S., Kagamimori S., Wang H., and Huang JQ.: Studies on man-made mineral fiber-mediated viral transfection. *Advances in the Prevention of Occupational Respiratory Diseases*, Chiyotani K., Hosoda Y., and Aizawa Y (Ed.) 669-672, Netherlands, 1997.
- 3) Wang H., Huang J., and Kagamimori S.: A study of asbestos-induced aneuploidy in *Drosophila*. *Advances in the Prevention of Occupational Respiratory Diseases*, Chiyotani K, Hosoda Y, and Aizawa Y (Ed.) 669-672, Netherlands, 1997.
- 4) 笹島 茂, 鏡森定信: 「職場におけるこれからの健康管理生活習慣病の予防を中心として」(共著, 労働省労働衛生課監修, 中央災害防止協会編集), 中央災害防止協会, 東京, 1998年.
- 5) 関根道和, 後藤英司: 血圧変動の臨床的意義. 「高血圧患者のマネージメント」荻原俊男, 日和田邦男, 築山久一郎編, 35-43, 医薬ジャーナル社, 東京, 1998.

◆ 原 著

- 1) Kagamimori S., Matsubara I., Sokejima S., Sekine M., Matsukura T., Nakagawa H., Naruse Y.: The comparative study on occupational mortality, 1980 between Japan and Great Britain. *Industrial Health*, 36: 252-257, 1998.
- 2) Sokejima S., Kagamimori S.: Working

- hours as a risk factor for acute myocardial infarction in Japan : case-control study. *BMJ*, 317 : 775-780, 1998.
- 3) Matsubara I., Sokejima S., Kagamimori S., Yamagami T., Naruse Y., Nakatani Y., Sekine M., Tabata M., Nakagawa H. : A cohort study on the active life expectancy of stroke patients using a community-based stroke registry in a Japanese rural district. *Health & Social Care in the Community*, 6 : 301-307, 1988.
 - 4) Kario K., Matsuo T., Kayaba K., Soukejima S., Kagamimori S., and Shimada K. : Earthquake-induced cardiovascular disease and related risk factors in focusing on the great Hanshin-Awaji Earthquake. *Journal of Epidemiology*, 8 : 131-139, 1998.
 - 5) Naruse Y., Nakagawa H., Kagamimori S., Fujita Y., Hashimoto T., Kasamatsu T., Mikawa K., and Ueshima H. : Relationship of parental history of high blood pressure to blood pressure : combined findings three Japanese population samples, the INTERS-ALT study. *Journal of Human Hypertension*, 12 : 215-220, 1998.
 - 6) Kishimoto M, Ojima T, Nakamura Y, Yanagawa H, Fujita Y, Kasagi F, Kodama K, Ueda K, Suzuki S, Kagamimori S. : Relationship between the level of activities of daily living and chronic medical conditions among the elderly. *Journal of Epidemiology* 8 : 272-277, 1998.
 - 7) 梅崎薫, 笹島茂, 鏡森定信 : 高齢者女性の配偶者死別と人的交流の変化. *ストレス科学* 13 : 55-61, 1998.
 - 8) 本間善之, 成瀬優知, 鏡森定信 : 高齢者の日常生活自立度と生命予後, 活動余命との関連について. 高齢者ニーズ調査より. *日本公衆衛生雑誌* 45 : 1018-1029, 1998.
 - 9) 中林美奈子, 廣田久美子, 鏡森定信, 澤田愛子 : 中山間地域における住民のヘルスニーズとインターネットを活用した保健サービスの展望. *北陸公衆衛生誌* 45 : 6-13, 1998.
 - 10) 中山喬, 山上孝司, 鏡森定信 : ウイルスと培養細胞の相互作用から見た石綿の発癌性に関する実験的研究. *産業衛生雑誌* 40 : 195-203, 1998.
 - 11) 伊木雅之, 梶田悦子, 西野治身, 鏡森定信, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭 : 大規模無作為標本調査に基づく骨量. 骨代謝指標値とそれに影響する要因. *Osteoporosis Japan* 6 : 257-261, 1998.
 - 12) 岸本益実, 尾島俊之, 中村好一, 柳川 洋, 笠置文善, 藤田委由, 児玉和紀, 上田一雄, 鈴木貞夫, 鏡森定信 : 地域高齢者の総合的老化指標—重回帰分析を用いた指標作成の試み—. *厚生指標* 45 : 27-34. 1998.
 - 13) 服部ユカリ, 成瀬優知, 市来愛子, 福田孜, 鏡森定信 : 訪問看護対象者のニーズ推移—身体・精神・介護状況に関して—. *北陸公衆衛生雑誌* 23 : 88-94, 1997.
- ◆ 総 説
- 1) 笹島 茂, 鏡森定信 : 温熱環境の自律神経系への影響評価—心拍変動のスペクトル解析の応用. *医学のあゆみ* 184(12) : 938-9, 1998.
 - 2) 笹島 茂, 関根道和, 鏡森定信. *医療経済分析とその限界*. *Medicina* 35(13) : 2096-2103, 2214, 2221, 1998.
 - 3) 王 紅兵, 笹島 茂, 鏡森定信 : 電磁場に関する発がん性の疫学的研究. *癌の臨床* 44 : 1459-1463, 1998.
 - 4) 王 紅兵, 笹島 茂, 鏡森定信 : 電磁場に関する発がん性の疫学的研究. *癌の臨床* 44 : 1459-1463, 1998.
 - 5) 松原 勇, 中谷芳美, 鏡森定信 : 職場作業の腰痛者の実態と有効な指導法の調査・研究. *電子情報通信学会技術研究報告* 98 : 133-140, 1998.
 - 6) 中谷芳美, 鏡森定信, 松原勇 : 中小企業の健康管理の有効な改善に関する調査・研究・電子情報通信学会技術研究報告 98 : 141-148, 1998.
 - 7) 築山久一郎, 関根道和, 常松尚志 : 高血圧を合併している狭心症の治療と注意点. *Medicina* 34 : 666-668, 1998.
- ◆ 学会発表
- 1) Kagamimori S. : Demand and supply of massage and acupuncture in Japan—analytical studies based on national surveys on health. 5th Annual Symposium on Complementary Health Care, 1998, 12, Exeter.
 - 2) Kagamimori S., Sokejima S., Sekine M., Ishizuka K., Okamura H., Agishi Y. : The effect of acute myocardial infarction after the Hanshin-Awaji earthquake. 33rd World congress of the international society of medical hydrology and climatology, 1998,

- 12, Prague.
- 3) Kagamimori S., Sokejima S., Sekine M., Liu Z., Zhang M., Wang N., Matsubara I., Kumazawa T. : Statistical indicators on foreign travels and associating factors in Japan, 1981-1991. Second Asia-Pacific Travel Health Congress, 1998, 7, Taipei.
 - 4) Sokejima S., Nakatani Y., Ogawa K., Sekine M., Naruse Y., Kagamimori S. : Hanshin-Awaji earthquake and stroke. The Lancet Conference 1998, 1998, 10, Montreal.
 - 5) Sokejima S., Nakatani Y., Ogawa K., Naruse Y., Kagamimori S. : Increased risk of cerebrovascular stroke after the great Hanshin-Awaji earthquake. The 2nd Asian-Pacific Congress of Epidemiology Jointly with the 8th Scientific Meeting of Japan Epidemiological Association. 1998, 1, Tokyo.
 - 6) Iki M., Kagamimori S., Kagawa Y., Matsuzaki T., Yoneshima H., Akiba T., Marumo F. : Prevalence of osteoporosis varies depending on the site of one evaluated according to WHO criterion -JPOS study-. European congress for osteoporosis Berlin, 1998, 9, Berlin.
 - 7) Hayashi M., Honda S., Shinagawa Y., Oe H., Kitamura T., Onaka M., and Kagamimori S. : Effects of diethylstilbestrol and oxygen concentration in culture on the frequency of sister chromatid exchanges in recurrent abortion couples. 18th International congress of genetics, 1998, 8, 北京.
 - 8) 鏡森定信：幼児・学童のライフスタイルと健康（シンポジウム）。第63回日本民族衛生学会, 1998, 11, 鳥根.
 - 9) 鏡森定信：小児期の生活週間と循環器リスクファクター。第33回日本循環器疾患研究管理協議会総会シンポジウム（生活習慣改善のアプローチ）。1998, 7, 東京.
 - 10) 笹島 茂. 経済環境と疾病構造（教育講演）。日本衛生学会ワークショップ「文化と健康—ストレス時代の衛生学的アプローチ—」, 1998, 8, 東京.
 - 11) 笹島 茂, 鏡森定信. 電磁界の健康影響についての疫学研究（招待講演）。第1回電磁界の健康影響に関するワークショップ—研究者間のネットワーク形成をめざして—（ワークショップ実行委員会・環境庁主催）, 1998, 1, 東京.
 - 12) 笹島 茂, 鏡森定信, 大村 栄, 浜田富美男, 関根道和. 入浴が睡眠時心拍変動に及ぼす影響. 第68回日本衛生学会総会, 1998, 3, 岡山.
 - 13) 関根道和, 山上孝司, 沼田直子, 笹島 茂, 斉藤友博, 飯田恭子, 南里清一郎, 吉田勝美, 吉村健清, 箕輪真澄, 鏡森定信：「痩せ」と関連する小学1年生時の生活習慣についての研究—富山スタディの成績より—。第57回日本公衆衛生学会総会. 1998. 10. 岐阜.
 - 12) 梅崎 薫, 笹島 茂, 関根道和, 成瀬優知, 鏡森定信：高齢期女性の配偶者死別と生活. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
 - 13) 梅崎 薫：高齢期女性の生活配偶者死別—夫婦家族と拡大家族の比較—。日本社会福祉学会第46回全国大会, 1998, 10, 東京.
 - 14) 劉 仲玉, 梶田悦子, 西野治身, 新村哲夫, 伊木雅之, 桑守豊美, 原田澄子, 関根道和, 笹島 茂, 鏡森定信：中国内モンゴル自治区と日本の有経女性におけるライフスタイル（第4報）地域別にみた食生活. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
 - 15) 劉 仲玉, 西野治身, 新村哲夫, 桑守豊美, 原田澄子, 鏡森定信：内モンゴル自治区と日本の閉経前女性における骨代謝関連要因の比較—ライフスタイル, 栄養摂取, 骨代謝マーカーと骨塩量—第63回日本民族衛生学会, 1998, 11, 鳥根.
 - 16) 劉 仲玉, 西野治身, 新村哲夫, 桑守豊美, 原田澄子, 鏡森定信：内モンゴル自治区と日本の閉経前女性におけるビタミンDレセプター遺伝子多型と骨塩量及び骨代謝マーカーとの関連. 第63回日本民族衛生学会, 1998, 11, 鳥根.
 - 17) 王 紅兵, 笹島 茂, 関根道和, 劉 仲玉, 鏡森定信：電磁場の職業曝露と成人白血病に関する疫学研究のメタ分析. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
 - 18) 沼田直子, 山上孝司, 笹島茂, 鏡森定信：児童の肥満化に影響する生活及び社会要因. 第33回日本循環器疾患研究管理協議会総会, 1998, 7, 東京.
 - 19) 山上孝司, 沼田直子, 笹島茂, 鏡森定信：小児の食生活に及ぼす環境因子とライフスタイルの影響. 富山スタディコホート調査結果より. 第57回日本公衆衛生学会総会, 1998, 10, 岐阜.
 - 20) 富岡徹久, 笹島 茂, 関根道和, 岩倉政城, 鏡森定信：女子短大生における口臭と疲労の関係. 第26回北陸公衆衛生学会, 1998, 11, 富山.
 - 21) 大村 栄, 鏡森定信, 笹島 茂, 浜田富美男：

- 入浴が自律神経に及ぼす影響—心拍変動スペクトル解析を用いた分析—. 北陸温泉療法医研修会, 1998, 10, 金沢.
- 22) 新村哲夫, 田中朋子, 西野治身, 桑守豊美, 劉仲玉, 鏡森定信: 中国内モンゴル女性の血清セレン濃度. 第69回日本衛生学会総会, 1998, 3, 岡山.
- 23) 松倉知晴, 西野治身, 山上孝司, 伊木雅之, 香川芳子, 松崎俊久, 米島秀夫, 丸茂文昭, 鏡森定信: 10歳代男女の骨代謝マーカー—JPOS study group—. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
- 24) 堀井裕子, 田中朋子, 西野治身, 尾崎一郎, 松倉知晴, 山上孝司, 鏡森定信: 思春期の骨代謝に対する運動の影響—運動種目別検討—. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
- 25) 梶田悦子, 西野治身, 伊木雅之, 劉仲玉, 鏡森定信: 中国内モンゴル自治区と日本の有経女性におけるライフスタイルと骨代謝(第1報) 地域別にみたライフスタイル. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
- 26) 西野治身, 伊木雅之, 梶田悦子, 劉仲玉, 鏡森定信: 中国内モンゴル自治区と日本の有経女性におけるライフスタイル(第2報) 骨代謝マーカーにみる地域差. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
- 27) 伊木雅之, 梶田悦子, 西野治身, 劉仲玉, 鏡森定信: 中国内モンゴル自治区と日本の有経女性におけるライフスタイル(第3報) 骨量測定成績. 第57回日本公衆衛生学会, 1998, 10, 岐阜.
- 28) 篁靖男, 広瀬友二, 鏡森定信, 青島恵子, 藤沢貞志, 金清, 三川正人, 室一, 川向文夫, 加須屋實: 中小企業における作業環境及び健康管理の改善について—地域産保センターの活動実績との比較検討—. 第41回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会, 1998, 10, 福井.
- 29) 西野治身, 伊木雅之, 梶田悦子, 劉仲玉, 鏡森定信: 日本と中国内モンゴル自治区の有経女性における骨代謝. 第7回日本骨代謝研究会, 1998, 10, 新潟.
- 30) 堀井裕子, 西野治身, 田中朋子, 尾崎一郎, 松倉知晴, 山上孝司, 鏡森定信: 高校生の骨代謝に及ぼす身体発育?生活習慣の影響. 第26回北陸公衆衛生学会, 1998, 11, 富山.
- ◆ その他
- 1) 鏡森定信: わが国の介護保険モデル国ドイツの保養地. CS通信, 18-20, NHK学園高等学校専攻科, 1998.
- 2) 鏡森定信他監訳: ヒトに対するがん原性リスクの評価に関するIARCモノグラフシリカ, ケイ酸塩, 石粉じん, パラーアミド原繊維. 第68巻(第1部シリカ), 日本語訳報告書, 平成9年度災害科学に関する委託研究報告書「じん肺合併肺がんに関する最近の国際動向について」, 1998.
- 3) 鏡森定信: 富山の生活風土と健康増進の医学. 北日本新聞文化センター「健康セミナー」1998, 2, 富山.
- 4) 鏡森定信: 内モンゴル草原住民のミルク茶飲用習慣が骨密度および骨代謝生化学的指標に及ぼす影響—日本女性との国際比較研究—. 平成7~9年度牛乳栄養学術研究会委託研究報告書(Ⅱ), 1998.
- 5) 鏡森定信: 情動ストレスと虚血性心疾患. 今月の治療 6: 111-118, 1998.
- 6) 鏡森定信: 医学の立場からみた自立支援のあり方—脳卒中情報システムからみた検討—. 平成8年度「施設サービスが自立度に与える要因分析調査」成果報告書, 1998.
- 7) 鏡森定信: 健康調査における問診および検査方法の精度向上に関する研究. 1998.
- 8) 辻元宏, 草野文嗣, 碧井猛, 水腰久美子, 押領司文健, 堀井とよみ, 中村道彦, 鏡森定信, 桑原治雄, 山川正信: これからの地域精神保健福祉のあり方に関する研究. 平成9年度地域保健総合推進事業報告書, 1998.
- 9) 笹島茂: ストレスと健康. さわやか健康クラブ(富山県庁人事課) 15: 2, 1998.
- 10) 笹島茂: 勤労者の職業ストレス調査の実際(講演). 産業保健推進センター研修会(職業ストレス). 1998, 8, 富山.